

山のトイレを考える会

<http://www.yamatoilet.jp>

News Letter

NO. 14 2013. 1. 23発行

山のトイレを考える会 代表：岩村和彦

1. 名刺サイズ啓発ツール作成 (2012. 8. 20)

用を足した後のティッシュ散乱を北海道の山から無くしたいとの思いから名刺サイズのマナー啓発ツールを作成しました。

「用を足した後のティッシュは必ず持ち帰る」ことを呼びかける内容となっています。

今までのマナーガイドと違って小さくて軽いので、ザックに入れてもそれほど荷物になりません。日頃から持ち歩き、山頂などで登山者に気軽に配布できるツールとなっています。

山岳会、ガイドツアー会社などの山岳団体、アウトドアショップそして、登山愛好家の皆さま、事務局に連絡していただければ、いつでも必要数(無償)を発送いたします。

また、ショップ等への配置にご協力いただける方はお申し出ください。

91mm



55mm

※全労済社会貢献事業の助成金で作成しました



雨の中での美瑛富士トイレデー



利尻山では毎年トイレデーを実施しています

2. 山のトイレデーの実施 (2012. 9. 9)

9月9日は荒天で、前日や他日に実施した人が多かったです。北海道の22箇所での登山口でマナー袋と山のトイレマナーガイドの配布、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を行いました。今回で12回目です。

参加者は約40名、マナー袋、マナーガイドはそれぞれ約1400枚を配布することができました。今回も当会の活動目的の重要な柱の一つである「トイレ紙は持ち帰りましょう」を主活動とし、登山者に呼びかけました。

美瑛富士のトイレデーは参加者9名。雨の中で避難小屋周辺に散乱されたティッシュを回収しました。NHK取材班も同行し、その模様はニュース放映されました。

「ティッシュは持ち帰っている」「携帯トイレを使っている」との登山者も確実に多くなってきている印象です。

活動に参加していただいた皆様、ありがとうございました。

今後も継続して実施していこうと思いますので、ご協力宜しくお願いします。

3. 大雪山登山道協働型維持管理の情報交換会と講習会に参加 (6.1・8.20)

環境省北海道地方環境事務所主催の標記会議に当会の愛甲と仲俣が参加しました。大雪山の登山道は毎年、多くの団体のご苦勞により維持されています。

現場の実態をよく知った関係者が一堂に会しての情報交換会は登山道維持だけでなく、避難小屋や山のトイレ等についての情報も得ることができ大変有意義でした。

8月20日は旭岳の裾合い平での登山道保全技術講習会があり当会の黒澤が参加。登山道の維持管理はいかに大変か身を持って体験したとのことでした。

山の現場をよく知っている関係者が情報交換する場は、相互にコミュニケーションを高め、北海道の山岳環境を効率的に守り改善していく上で必要です。これからも開催していただきたいと願っています。

4. 黒岳バイオトイレのオガクス掻きだし作業に参加 (2012. 7. 12・10. 2)

黒岳のバイオトイレは2003年9月19日に運用開始されました。オガクスを利用したバイオトイレです。

電源はソーラー発電、風力発電のほか発電機も使え、蓄電池を備えたハイブリット自家発電です。

予測最大利用者数は1日200回で4室あります。2004年の本格的運用開始早々から利用者数が予測値を大幅に超える日が続き、オガクスのバイオ処理が追い付かず、年5回ほどのオガクス交換を余儀なくされ、上川総合振興局はじめ関係者の大変なご苦労が続いています。

7月12日は二人、10月2日も二人、当会からオガクス(尿尿)の掻き出し、運搬作業に参加してきました。

防護服やカッパは着ているのですが、尿尿まみれの重労働。10月4日にヘリで全て下界に搬出されました。

バイオトイレの改良について検討していますが、コストや実施した後の保証の担保など課題が多く、関係者は頭を悩ましています。

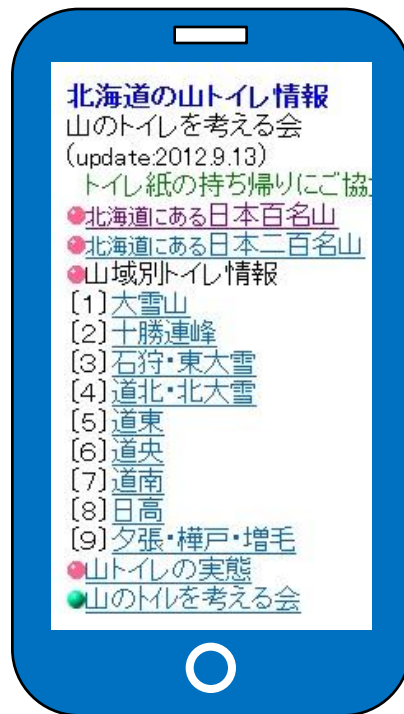


掻き出したオガクス(尿尿)を運搬する



トイレ裏にストックされていたオガクス(尿尿)を運ぶ

5. 携帯版登山口トイレ情報リニューアル (2012. 8. 10)



写真を入れ、項目も増やし見易くしました!



<http://yamatoilet.jp/i/yamatoilet.htm>

6. 各種セミナーに講師を派遣 (2012. 9. 8・11. 11)

山のトイレデー前日の9月8日、道央地区勤労者山岳連盟・自然保護委員会主催の自然保護セミナーが上富良野町保険福祉総合センターで開催され、当会の愛甲事務局長が「北海道における山のトイレ問題と全国的な動向」と題してお話をしました。

また11月11日に北海道勤労者山岳連盟主催の第41回北海道登山研究集会の講師として仲俣と黒澤が「北海道の山岳環境の実状と問題点」と題してお話しました。山岳会は自然保護に具体的にどう向き合うかなどが意見交換され、当会にとっても大変有意義なセミナーとなりました。



登山者自ら山を汚さないようにしましょう

連絡先

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院農学研究院内
山のトイレを考える会 事務局 (担当: 愛甲哲也)
電話&FAX: 011-706-2452 電子メール: hokkaido@yamatoilet.jp

<http://www.yamatoilet.jp>

(ニュースレター編集)
仲俣善雄